

萩育林会が白水小学校で森林体験学習を実施しました

令和4年12月13日(火)、萩育林会（会長：堀忠行）が、萩市立白水小学校の3～4年生26名を対象に、森林体験学習を行いました。

これは、次代を担う子供たちに、森林の働きや林業の必要性などについて、理解を深めてもらうことを目的に実施しています。

白水小学校では、平成30年度からシイタケ栽培について学習を続けています。最初に、森林・林業についての説明を聞いた後、昨年4年生が駒打ちしたほだ木の、ほだ起こし作業を行いました。

その後、3年生10名で新たにシイタケの駒打ちを行い、学校の山際に仮伏せしました。みんなで管理しているシイタケほだ木には、いくつかシイタケが生えてきており、3年生の児童からは「自分が打ったシイタケが生えるのが楽しみ」と言った感想が聞かれました。

萩育林会では、引き続き、白水小学校のシイタケづくりを見守っていくこととしており、シイタケ栽培がきっかけで林業への関心が深まることを期待しています。



ほだ木の状態を確認



駒打ち作業